

## 2015年 新年のごあいさつ

耐震総合安全機構 理事長 深澤義和

あけましておめでとうございます。

さまざまな被害が広範囲におきた阪神淡路大震災から20年経ちました。この阪神淡路大震災を契機として、構造体が倒壊や崩壊するような大被害を防ぐことはもちろんですが、そこまでに至らない被害でも、

それを防ぐことが、生活者にとって重要なことであるとして、JARACの活動が始まり、JASOの活動へとつながりました。

阪神淡路大震災以降も、新潟県中越地震、福岡県西方沖地震、東日本大震災と大きな地震が続きました。総合的な耐震性の重要性がますます高まっています。

JASOは発足以来、具体的な活動として、パンフレットの発行、セミナー・無料相談の開催、アドバイザー派遣などにより、総合的な耐震対策の必要性を啓発し、対策を提案してきました。現在、まだまだ啓発が必要なことと同時に、実際に対策をとるときに浮かび上がってくる課題の解決も必要になってきています。

地震予知ができない中ではありますが、阪神淡路大震災以来、日本各地での大地震が頻発していることは事実です。次の大地震の発生がないことを祈りつつ、総合的な地震対策が少しでも確実に進むことを支援していきたいと考えています。今年も皆様、健康でご活躍されるよう、よろしくお願いいたします。



理事長 深澤義和氏  
(撮影：JASO設立10周年記念式典)



### 目次：

新年のごあいさつ	1
近畿支部セミナーの報告	2 3
JASO協力会からの報告	4 5
JASO主催セミナー報告	6
協力会員様ご訪～問！	7
お知らせ	8

### JASOトピックス

- 3/3～6 建築建材展
- 3/26 都沿道セミナー
- 4/28 新入会員懇談会
- 6/3～5 建築再生展

## 1. セミナー概要

JASO近畿支部は、2014年12月10日（水）13：30-17：00、エル・おおさか（大阪府立労働センター）に於いて、「南海トラフ地震に備えての耐震化 - 耐震総合安全性の考え方（マンションへの適用） - 」のセミナーを開催しました。



西村氏の趣旨説明

大阪建築防災センター、日本建築構造技術者協会（JSCA）関西支部、日本建築家協会（JIA）近畿支部、建築設備技術者協会（JABMEE）近畿支部、関西建築構造設計事務所協会（KSE）、大阪府建築士会、大阪府建築士事務所協会、日本建築学会近畿支部、日本建築協会、日本建築材料協会（JBMA）の後援・協賛を受け、参加者は関係者を入れて46名（うち25名が17の地方自治体から）でした。講演者は、地盤研究財団の北田奈緒子さん、長尾直治、JASO本部の坪内真紀さん（坪内一級建築士事務所）、JASO近畿の耐震アドバイザー委員長藤本健さんで、司会は平田建築構造事務所の西村清志さん、終わりの挨拶をJASO本部の佐藤事務局長が行いました。

## 2. 講演内容

パンフレットに記述されている本セミナーの趣旨は以下の通りです。

「近畿圏では南海トラフ巨大地震や上町断層地



講演風景

（北田氏・坪内氏・長尾氏・藤本氏・佐藤氏）

震などの発生が懸念されており、震動・津波・火災などによる多様な被害が予測されています。これに備えるため、耐震改修などの努力が各方面で進められています。これに対してJASOは、地震災害から建物および生活を守るためには建築構造だけではなく、内外装材、設備機能など建築の総合的視点（耐震総合安全性の考え方）から耐震性強化を図ることが重要だと考えています。幸いに、この考え方に賛同いただき、難しいとされるマンションについても、JASO本部（東京）では2006年から約700の簡易診断、約200の精密診断などの耐震化支援活動を行いました。また、JASO近畿支部では、耐震総合安全性の考え方のうち、「財産を守る耐震」に関する技術資料（120p）を作成し、皆様のお役に立ちたいと考えております。この機会に、JASO近畿支部では、近畿圏で懸念されている地震の解説、耐震総合安全性の考え方、およびJASOの耐震化支援活動について知っていただくためのセミナーを開催することといたしました。」

この趣旨説明のように、JASOが東京で行ってきたアドバイザー派遣事業などの概要、および、耐震総合安全性の考え方を、とくに、関西の地方自治体関係者に知っていただくことを主

眼としたものです。

西村さんの趣旨説明の後、北田さんが「近畿圏の地震」の主題で大阪堆積盆地・上町断層地震などの内陸直下地震・南海トラフ地震の特徴などを、最近の研究成果を交えた豊富なスライドで解説し、参加者はその迫力のある話に感銘をうけました。長尾は「総合耐震安全性の考え方（財産を守る耐震）」の主題で2014年10月に完成した委員会成果（本）の内容を概説しました。その後、坪内さんが「JASOの耐震化支援事業（東京での事例紹介など）」の主題で、杉並区から始まり約10年になるJASOのアドバイザー派遣事業や簡易診断事業の方法や考え方を、たくさんの事例とともに分かりやすく解説しました（図-3）。とくに、簡易診断の役割や重要性の説明は、マンションの耐震化

がなかなか進まなくて困っている関西の自治体の皆様にも参考になったものと思われます。藤本さんは「JASO近畿支部の活動」の主題で支部でもアドバイザー派遣事業などの準備をしていることを話しました。

### 3.まとめ

本セミナーは、近畿支部メンバーの勧誘努力の力があって、多数の自治体関係者が出席しました。佐藤さんが終わりの挨拶で、自治体と共同することがお互いに重要であることを強調しましたが、セミナーの後、興味を持った自治体からの問い合わせもあり、耐震安全性を総合的に考えて行くJASOの考え方を関西でも知っていただく足がかりになったと感じました。

## アドバイザー派遣の複数回利用件数

派遣回数	杉並区	新宿区	練馬区	港区	北区
2回	47	51	12	18	3
3回	9	18	2	2	—
4回	5	4	2	0	—
5回	3	1	1	1	—
計	64	74	17	21	3

区ごとに10～25%の建物がアドバイザー派遣を複数回利用している

#### 複数回利用の例

- 図面がなかったが、搜したら出てきたので図面をみてほしい
- 診断の結果を、もう一度説明してほしい
- 総会や居住者説明会に立ち会ってほしい
- 次のステップへの進め方について、教えてほしい
- 理事が交代したので、新しい理事にもう一度説明してほしい
- しばらく耐震の検討を中断していたが、もう一度始めたい
- 地震の被害があるので、見に来てほしい（東日本大震災 都内震度5弱）

ロングスパンでの支援が可能に

JASOの支援活動と  
簡易診断制度  
などのメリット  
(坪内氏のスライドから)

## 耐震助成制度活用のメリット

誰に頼んで  
よいかかわ  
らない

どうやって  
進めるのか  
わからない

費用がいくら  
かかるのかわ  
からない

うちは大丈夫  
だと思うけど

### アドバイザー派遣や簡易診断の制度があると

- 入り口が無料で、耐震化のきっかけにしやすい
- ステップ毎に制度があり、進め方が理解しやすい
- 報告書の内容は行政側もチェックするため、客観性が保てる
- 同じ担当者が何度も訪問することで、信頼関係が築ける
- 専門家にとっても現場を見た上できちんと話ができる  
(相談コーナーでのやりとりでは分からないこともある)

## 第2回JASO協力会技術発表会報告

日時：2014年11月21日 会場：JASO事務局2F会議室

報告：協力会事務局 李銀姫

2014年11月21日、JASO協力会の第2回技術発表会が開催されました。JASO協力会（法人会員・賛助会員）の日頃の研究開発成果を発表するため、会員同士の情報交換や知識・技術の向上に役立てて頂くことが目的でした。

当日は6つのテーマを設け、協力会員に製品・工法の概要や事例を紹介いただきました。聴講者は27名（発表側除く）でした。発表した会員とテーマは以下の通りです。

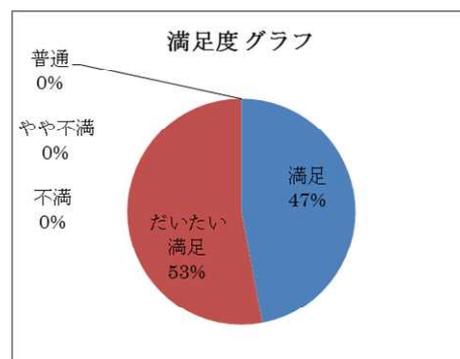
テーマ	講師会員名
機械式緊急遮断弁(JASO推奨品)	ベン
デザインUフレーム工法	建装工業
転造ねじ、ライニング鋼管	レッキス工業・JFEスチール
磁器タイル脱落抑止工法	エスケー化研
ハイブリッド耐震補強工法	ケー・エフ・シー
繊維シート補強工事	キーマン

かねてより多くのJASOアドバイザーからは協力会会員企業の耐震改修にまつわる技術や製品に注目が集まっており、技術発表会や座談会のような企画の要望がありました。また、協力会からも技術を発表するとともに設計者、特にJASOアドバイザーとの関係を深めたいとの声がありました。今回の技術発表会は2012年5月の第1回発表会以来の開催です。

今回は各社ともデモ機や資材サンプル、現場施工事例写真などを用いて自社の製品や工法を視覚に訴える発表を行いました。質疑応答も多く受け、聴講者たちの熱意も伝わってきました。

セミナー後、アンケートを実施し、回答の集計結果は以下の通りとなりました。

### Q1. 今日の技術発表会にご満足いただけましたか？



### Q2 次回以降、どのようなテーマを希望しますか？

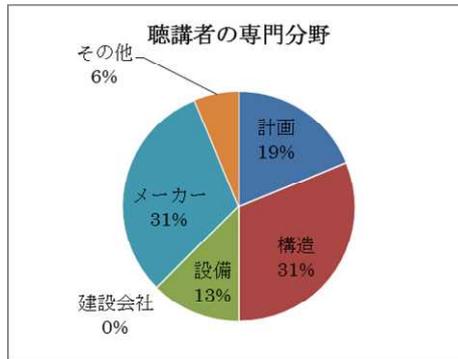
耐震補強（構造）の紹介 / 種々の材料設計の話 / 補強工法について、認定工法など / 分譲マンションの耐震改修事例 - 住民合意の過程 / 新しい構法のコスト（計画）

### Q3 ご感想・ご意見など

このような機会はJASOアドバイザー、協力会会員へのPR、業務への応用の効果がある /

もう少し短時間で多企業を！ / 実演がおもしろい / 会場が少しせまかった

Q4 聴講者の専門分野をお教えてください



以上の結果を見ますとおおむね満足いただけたようですが、次回開催に向け、テーマの選定や開催形式などは更なる検討が必要そうです。最後になりましたが、講師として、また聴講者としてご参加いただきました皆様に心より感謝いたします。



多彩な方法を用いて自社の技術を熱心に解説する発表者たち  
 左：ベンの社員のみなさま 右：レックス工業の社員のみなさま

**懇親会『ボージョレ・ヌーヴォーを味わう秋の夕べ2014』の報告**

毎年恒例となりましたこの催し、今年は技術発表会と同日の11月21日（金）に開催されました。おかげさまで総勢42名が参加、大変な賑わいとなりました。

中田準一前理事長の計らいで用意されたワイン、アドバイザーや協力会会員からの差し入れ、事務局のみなさんが準備してくださったオードブルなど、美味しいお酒とおつまみに舌鼓を打ちました。普段はなかなか言葉を交わす機会のない会員同士も会話に花を咲かせ楽しい交流のひとつを過ごしました。

2015年のボージョレ・ヌーヴォー解禁日は11月19日、よって今年の『ボージョレ・ヌーヴォーを味わう秋の夕べ』開催日は11月20日（金）の予定です。みなさん、今すぐ手帳にご記入ください！



**江戸東京たてもの園散策会の報告**

2014年11月15日（土）、新しい試みとなるレクリエーションを開催しました。都立・小金井公園内の江戸東京たてもの園を散策しました。

ここは歴史的文化的価値のある建造物を移築保存した公園です。暖かい陽射しにめぐまれたこの日、設計や診断業務に忙殺される日々を癒やすかのようにのんびりと散策しました。

今後もバーベキューや低山ハイキングなど、様々なレクリエーションを企画する予定です。お楽しみに！



# 東京都マンション耐震セミナー

日時：2015年1月10日 会場：都庁都民ホール

報告：教育研修委員会 白石健次

阪神大震災から早や20年が経ちました。また、4年前に起こった東日本大震災の被害は今でも目の裏に焼き付いており、一日も早い復興を祈るばかりです。日本が安全で安心して過ごせるためにも自然災害に強い街づくりをすることが必要です。

東京都は、昭和56年以前の建築物を耐震化するために尽力し、東京都沿道建築物の耐震化促進を先陣を切って推し進めているところです。今回、毎年行われています東京都主催のマンション耐震セミナーにJASOが協力しました。

昨年の暮れから教育研修委員会が主となり東京都都市整備局マンション課とセミナー内容を詰め、大地震でのマンションの被害、耐震化の進め方および耐震補強の実例などのセミナーをはじめ、個別相談会を平成27年1月10日に都民ホールにて開催するに至りました。

当日はたくさんのJASO会員に協力を仰いで、250名を超える区分所有者や管理組合の方々に参加していただいたことや12組の個別相談などで今後ますますマンションの耐震化が進むことが期待されます。

JASOが受け持ったセミナー概要は次のとおりです。

**マンション耐震セミナー**  
東京都耐震総合安全機構(JASO)共催

昭和56年以前の旧耐震基準で建設されたマンションは、耐震性能が不足している可能性があります。大地震に備えて耐震診断を行い、必要に応じて耐震改修を行うことが重要です。今回は、補修工事の実例を含め、マンションの耐震化の進め方について、専門家を講師として招き、セミナー形式で講演を開催いたします。

【日時】	平成27年1月10日(土) 13:30～16:45
【場所】	都議会議事堂1階「都民ホール」(新宿区西新宿2-8-1)
【対象】	マンション管理組合、区分所有者、マンションオーナー、マンション管理会社等
【定員】	250名(申込先着順) <input type="button" value="参加費 無料"/>
【講師】	(1)「大地震で想定されるマンションの被害」 株式会社 耐震研究所 代表取締役 遠藤 克彦 氏 (2)「マンション耐震化の進め方とポイント」 有限会社 日栄建設事務所 代表取締役社長 岸崎 孝弘 氏 (3)「耐震補強の方法と『工事』実例」 坪内 真紀建築士事務所 代表 坪内 真紀 氏 (4)「マンションの耐震診断等に関する施設改修等について」 住宅金融支援機構マンション再生支援担当グループ長 牧田 賢治 氏 ※ 耐震総合安全機構(JASO)による個別相談会(無料)を実施します(12:30～13:30)。 ※ 裏面の申込書により、FAX等でお申し込みください(定員に達し次第終了)。 申込先 都庁 都市整備局 マンション課



- 「大地震で想定されるマンションの被害」・・・ 遠藤克彦氏
- 「マンション耐震化の進め方とポイント」・・・ 岸崎孝弘氏
- 「耐震補強の方法と『工事』実例」・・・ 坪内真紀氏

被害写真や耐震化の方法と実例を数多くの写真で表現しての講義であったことが参加者を唸らせたようで、質疑応答も真剣な一問一答だったようです。

セミナーの原稿作成や講師を快くお受けくださった遠藤勝彦さん、岸崎孝弘さん、坪内真紀さんをはじめ、個別相談に対応していただいたJASO会員の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。今後も日本の安全で安心な街づくりにご尽力いただきますようよろしくお願いいたします。



# 協力会員様ご訪～問！

## 第19回

### 株式会社 東京ソイルリサーチ

このコーナーではJASOの法人会員・賛助会員の会社を訪問し、耐震への取組状況についてお伺いします。取材のご協力をお願いします。

駒沢大学駅から南に歩いて数分、世田谷区から目黒区に入ったところに、東京ソイルリサーチの本社社屋がある。地盤・土質調査のパイオニアとして1966年に創立され、今年4月で創業49年を迎える。JASOと深いつながりをもつ構造調査設計事業は、昭和52年4月に『既存鉄筋コンクリート造建築物の耐震診断基準』が発表される半年前に発足した「特殊調査課」が前身である。今の「構造調査設計事業部」に改組したのは、兵庫県南部地震（1995年1月17日）が発生する3か月前とのことである。既存建物を地震災害から守る使命を先駆的に実践されてきた、創業者である大槻朝雄さんに感銘するとともに、その使命感は今も社風として受け継がれていると思える。今回は、構造調査設計事業部の三代川俊雄事業部長と小山博司課長にお話を伺った。

仕事の内容は既存建物の耐震診断、補強設計、火災建物等の安全性調査、構造物の耐力度や劣化調査、擁壁調査、歴史的建造物の保存関連業務、外部研究機関と連携した調査、研究開発、実験解析と多岐に亘っている。阪神淡路大震災直後はテナヤワンの忙しさで、震災の影響で耐震診断がもてはやされた状況が3～4年続いた状況の後、徐々に低調な状況になったという。その後、大きな地震が度々発生して地震予知は不可能との認識が定着し、人的被害をなくすには既存建物の耐震性を向上させることが、最も重要で最良の方法であるという考え方が浸透してきて、事業部の業績も順調に伸びているという。仕事の量も年間200件、ほぼ毎日1件、仕上げていく勘定である。これを約15名の精鋭なる技術系社員が担当している。

技術者系社員は毎年若い人を採用していることで、平均年齢は比較的低い。担当の仕事は全てのジャンルを経験させ、幅広い分野での育成を図っているとのことである。

これから目指すことを伺ったところ、耐震改修を推進することを第一に挙げられた。なお、官公庁建物に比べ民間建物での実施率が低いこと、とりわけ住宅系の耐震改修が進んでいないことを危惧された。耐震改修率を高めるための改善策を伺った。実務を多く経験されている中では、評価など耐震化を進める過程での難しさを感じておられた。マンションでは住民の合意形成の難しさもあるが、耐震化を促進するための技術やシステムの改善もあるかもしれない。

最後にJASOに対する要望を伺った。「JASOは自治体等とのつながりがある。是非、耐震化促進のため、改善に向けた施策を押し進めてほしい。」とのことである。これからもJASOの仲間として、既存建物の耐震化に向けて一緒に汗をかいていきたいと思う。

(中村茂)



東京ソイルリサーチ本社社屋



三代川俊雄氏と小山博司氏（JASO広報委員と）



熱心に話っていた三代川俊雄氏

## 教育研修委員会からのお知らせ

「都緊急輸送道路沿道建築物のJASO耐震化支援事業技術者講習会」のご案内

【開催概要】

日時 平成27年3月26日(木) 13:30~18:00  
 会場 JIA 建築家会館 本館ホール(1階)  
 東京都渋谷区神宮前2-3-16  
 定員 70名  
 対象 JASO 耐震アドバイザー、JASO会員  
 参加費 無料

講演

1. 構造図のないSRC造の推定構造図作成の手引き  
並びに推定構造図作成概算費用の算出要領
2. (仮称)医療施設の耐震対策



## 新入会員懇談会のお知らせ

今年度、JASOへ新たに加入された会員向けの懇談会です。  
 該当する会員へは事務局より個別にご連絡いたします。

日時 平成27年4月28日(火) 16:00~  
 会場 JASO事務局 会議室 文京区音羽 1-20-16 PAL音羽ビル2階



## JASO 行事スケジュール

2月	2/24	(火)	午後アドバイザー会議
3月	3/24	(火)	午後アドバイザー会議
	3/26	(木)	13:00~18:00都沿道セミナー(JIA会館)
4月	4/28	(火)	午後アドバイザー会議

JASO協働会事務局からのお知らせ

## JASO協働会(法人会員・賛助会員)のみなさまへ

当紙では隔号ごとに「協働会員様ご訪~問!」を連載しています。  
 会員各社の社屋や研究所にお邪魔して取材・インタビューをしたのちに記事として掲載いたします。

**貴社の耐震化に対する取り組みや、自慢の製品・工事实績等などをご紹介ください!**

また、毎号掲載しております**広告欄(1/3ページ)**への出稿もお待ちしております。(掲載料 無料)

詳しくはJASO協働会事務局までお問い合わせください!

JASO協働会事務局: アクシス(株)内 李(り)  
 TEL:03-5377-7781  
 Email:u-ri@axis-slit.com

